

株価	1,334 円	売上高 EV/売上高	EBITDA EV/EBITDA	営業利益 EV/営業利益	当期利益 PER	株主資本 PBR
金融債務	883 百万円	09/3a	39,047	6,055	4,774	25,646
現金等価物	9,747		0.4x	2.5x	3.1x	0.9x
ネット金融債務	-8,864	10/3a	28,403	1,997	708	25,162
			0.5x	7.5x	21.0x	0.9x
時価総額	23,745	11/3e	31,310	2,930	1,630	-
企業価値(EV)	14,881		0.5x	5.1x	9.1x	32.1x

* 金融債務には少数株主持分を含む

10年3月期は大幅な減収減益となるも、11年3月期は回復基調が予想される。

本書は投資家のための参考情報であり、投資勧誘を意図しておりません。投資にあたっては読者自身の責任で判断して下さい。本書の内容は作成日の筆者意見であり、万全を尽くしてはおりますが、その完全性・正確性を保証するものではなく、予告なく変更されることもあります。本書の著作権は浜町 SCIにあり、浜町 SCIの事前の許諾なしに、複製・転送・引用を行うことを禁じます。浜町 SCIは本書で言及した株式について、なんらかのポジションを有していることがありうることをご了解下さい。

10年3月期の業績は大幅な減収減益
本日、10年3月期の業績を開示した。10年3月期の業績は、売上高 28,403 百万円(前期比 27.3%減)、営業利益 708 百万円(同 85.2%減)の大幅減収減益となった。大幅な減益に加え、海外子会社での円高にともなう仕入コストの増加等の影響により原価率が上昇した。

全製品群で減収に

製品群ごとの売上では、

- ・ プリンター： 11,987 百万円(前期比 37.1%減)。第2四半期以降、スタンダード機種を中心に販売が回復したものの、年度を通じて企業の設備投資抑制や金融機関による信用収縮が影響し、前期比減収となった。
- ・ プロッタ： 1,249 百万円(前期比 26.4%減)。主力機種の販売が軟調だった。
- ・ 工作機器： 1,997 百万円(前期比 24.0%減)。年度後半にかけてものづくり分野向けの製品を中心に販売持ち直しの動きが見られたものの、企業の設備投資抑制や教育機関の予算削減の長期化などが影響し、前期比減収だった。
- ・ サプライ： 10,247 百万円(前期比 15.5%減)。年度後半にかけ回復傾向だったが、企業の宣伝広告支出の抑制が続き、ユーザの仕事量が減少したこと等から、インクを中心に減収となった。
- ・ その他： 2,921 百万円(前期比 16.9%減)。サービスパーツを中心に伸び悩んだ。

安定収入を見込むサ
プライ製品でも減収

11年3月期は増収増
益を見込む

11年3月期の会社業績予想は、売上高 31,310 百万円(前期比 10.2%増)、営業利益 1,630 百万円(同 130.2%増)とされる。

なお、想定為替レートは、USD1=90円、EUR1=125円、GP1=140円、DK1=16.8円。